

草津市まち・ひと・しごと創生 総合戦略の概要について

草津市 総合政策部 企画調整課

まち・ひと・しごと創生とは

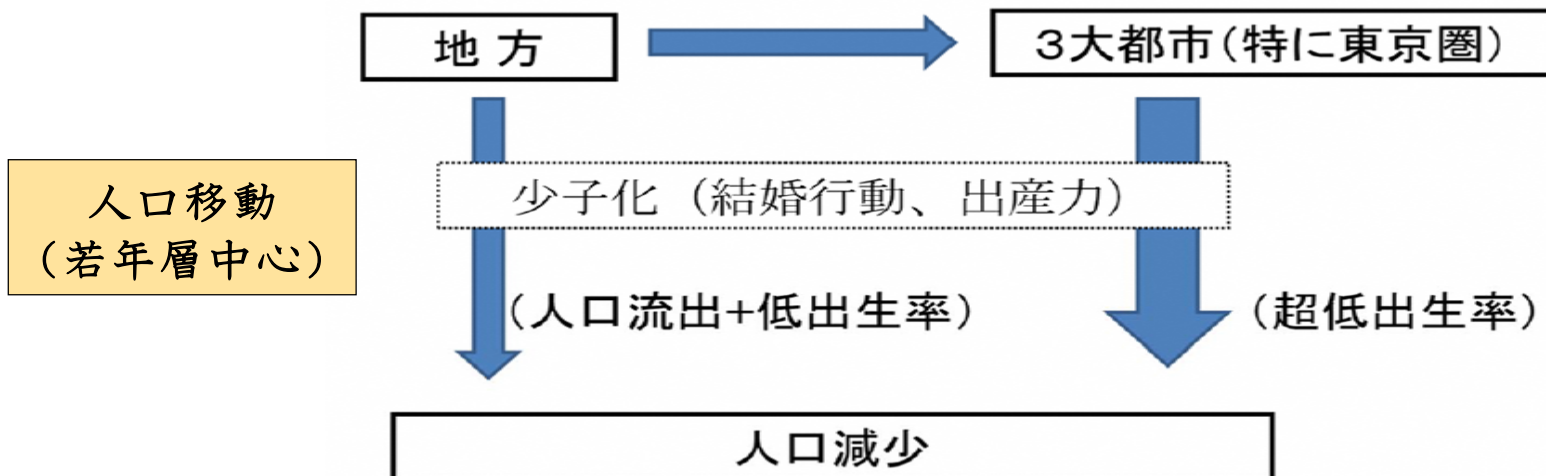
(1)まち・ひと・しごと創生で目指すもの

- ①2008年に始まった人口減少は、今後加速度的に進む。
- ②人口減少による消費・経済力の低下は、日本の経済社会に対して大きな重荷となる。
- ③国民の希望を実現し、人口減少に歯止めをかけ、2060年に1億人程度の人口を確保する。
- ④まち・ひと・しごと創生は、人口減少克服と地方創生をあわせて行うことにより、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指す。

まち・ひと・しごと創生とは

(2)なぜ、まち・ひと・しごと創生に取り組むのか

- ①人口減少問題は地域によって状況や原因が異なる。
- ②大都市における超低出生率・地方における都市への人口流出と低出生率が日本全体の人口減少につながっている。
- ③東京一極集中を是正し、若い世代の結婚・子育て希望を実現することにより人口減少を克服
- ④地域特性に応じた処方せんが必要



国の総合戦略における基本的な考え方

3つの視点

若い世代の
就労・結婚・子育て
の希望の実現

『東京一極集中』
の歯止め

地域の特性に
即した地域課題
の解決

「しごと」と「ひと」の好循環を実現するための、4つの目標

- ① 地方における安定的な雇用を創出する
- ② 地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、
地域と地域を連携する

魅力あふれる地方を創生

地方創生をめぐる現状（平成27年国勢調査結果の概要）

全国人口

①人口減少に歯止めがかかっていない

→ <H27年> 総人口:H22年より約96.2万人減少(国勢調査開始以来初の人口減少)

②東京一極集中が加速

→ <H27年> 地方から東京圏への転入超過は12万人(4年連続増加)

③世界で例を見ないスピードで少子高齢化が進展

→ <H27年> H22との比較では、年少人口は91万6千人減少(割合12.6%は過去最低)、生産年齢人口は474万3千人減少(割合60.7%)、高齢者人口は421万9千人増加(割合26.6%は過去最高)

本市の人口

①総人口は、市制施行以来、一貫して増加を続けている

→ <H27年> 総人口137,247人(増加数6373人、増加率4.9%は、ともに県内1位)

②年間1300人超の安定的な人口増加(H26年を除く)

→ <H27年> 県内ほぼすべての市町に対して転入超過。県外は、京都市・神戸市が転入超過、大阪市が転出超過。東京圏は、転出超過傾向

③子どもは増加し、高齢化は進展

→ <H27年> 年少人口は989人増加(割合14.7%)、生産年齢人口は1649人で初めて減少(割合65.2%)、高齢者人口は5452人増加(割合20%は過去最高)

まち・ひと・しごと創生法の概要と総合戦略の位置づけ

目的(第1条)

少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくために、まち・ひと・しごと創生に関する施策を総合的かつ計画的に実施する。

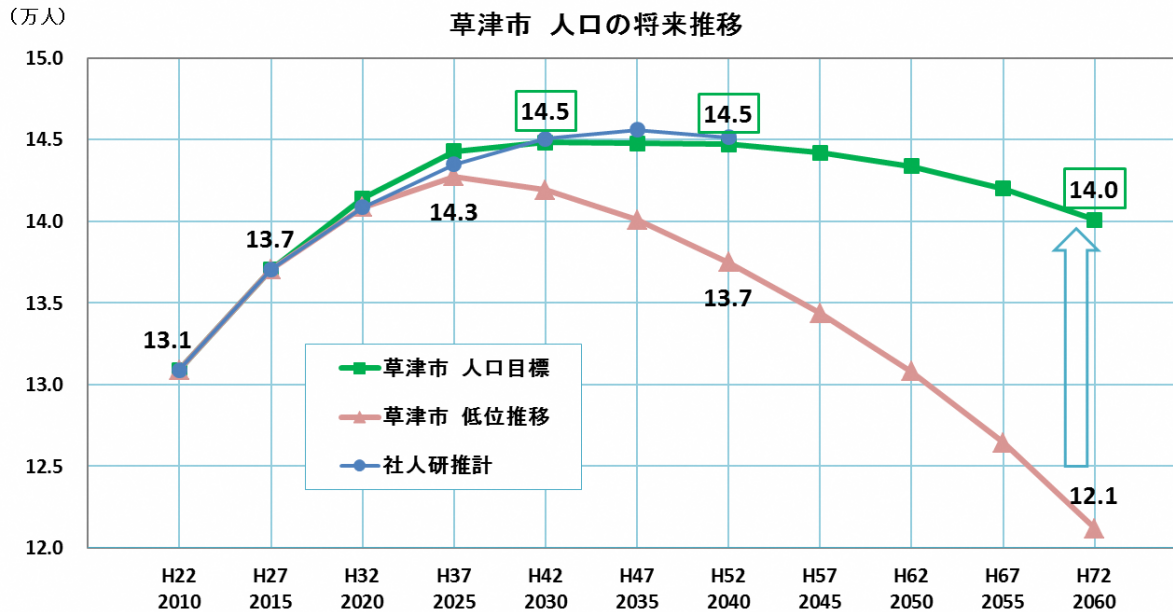
市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略(努力義務)(第10条)

市町村の区域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画を定めるよう努めなければならない。目標や施策に関する基本的方向等を定める。



- ①総合戦略に掲げる施策の根幹である人口の現状分析と将来展望を行うため、**草津市人口ビジョン**を策定（対象期間：平成72(2060)年まで）
- ②近い将来訪れる人口減少局面に対応するとともに、本市がさらに魅力的で、持続可能なまちであり続けるための取り組みを推進していくために、**草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略**を策定（計画期間：平成27年度から平成31年度まで）

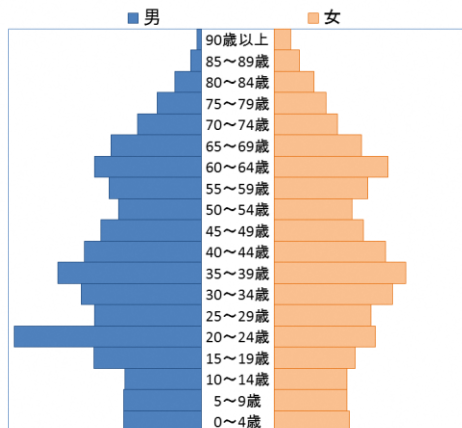
草津市人口ビジョンについて



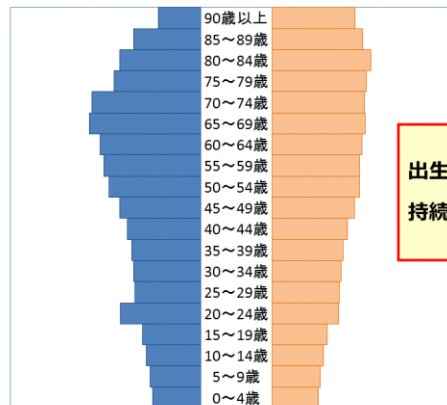
《 人口目標 》

- 総人口
2040年に14万5千人
2060年に14万人
- 出生数 年1,400～1,450人
- 出生数増加による持続力ある人口構造の維持

平成22(2010)年 (国勢調査、実績)

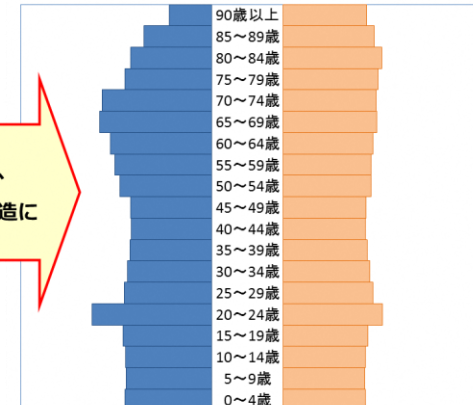


平成72(2060)年
現状の出生率で、転入超過が収束する低位推移



出生数増加により、
持続力ある人口構造に

平成72(2060)年 (草津市 人口目標)



「草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」

【3つの戦略目標】

誰もが住みよさを実感でき、
ふるさととして誇れる

指標

力強い経済活動や多様な
主体の連携が交流と活気を
生み、まちが躍動する

指標

地域課題の解決が図られ、
健康で安心して末永く暮ら
せる

指標

【7つの戦略プロジェクト】

結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえる

KPI

特色ある教育のさらなる充実

KPI

住みよいまちへの心の醸成

KPI

活気を生む産業の振興と雇用の創出

KPI

多様な交流の促進

KPI

地域の現状・特性に応じた課題解決

KPI

健やかに暮らせるまちづくり

KPI

アクションプラン（事業一覧）

交付金対象

実績額

KPI

事業効果

- ① “指標”と“KPI”により、実施した施策・事業の効果を検証し、必要に応じて総合戦略（アクションプラン）の見直しを行っていく。
- ② 地方創生関連交付金事業は、KPIの達成度や実績額、事業効果について外部有識者により評価いただき、その結果を国に報告する。

「◎」…平成29年度と比較して
予算額が増加した事業

「草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の戦略体系 ～平成30年度 アクションプラン～

関連事業費を含む
総額115.2億円
【102事業】

戦略目標 1

誰もが住みよさを実感でき、
ふるさととして誇れる

[47億円]

戦略プロジェクト①: 結婚、妊娠、出産、子育ての希望をかなえる

【結婚・妊娠・出産期の安心の子育て相談・支援体制の充実】
＜戦略アクション＞ 276百万円

- ◎総合相談事業
- 妊娠・出産包括支援事業
- 妊婦健康診査事業
- 結婚新生活支援事業
- など 14事業

【子育て世帯の負担軽減と就学前サポートの充実】
＜戦略アクション＞ 1,148百万円(再掲除く)

- ◎多子世帯保育料・幼稚園等利用者負担額軽減事業
- ◎乳幼児福祉医療助成事業
- ◎小中学生入院医療助成事業
- ◎病児・病後児保育運営事業
- 児童公園再整備事業・公園長寿命化対策事業(再掲)
- ◎公立認定こども園施設整備事業
- など 20事業

【保育の待機児童解消対策の推進】
＜戦略アクション＞ 2,856百万円

- ◎待機児童解消加速化事業(施設整備補助)
- ◎地域型保育事業
- ◎児童育成クラブ運営事業
- など 4事業

戦略プロジェクト②: 特色ある教育のさらなる充実

【特色ある教育内容の充実】
＜戦略アクション＞ 262百万円

- ◎教育情報化推進事業
- 子ども読書活動推進事業
- ◎学力向上重点事業
- など 5事業

【教育体制の充実】
＜戦略アクション＞ 66百万円

- ◎学校教育支援教員配置事業
- 学校支援対策推進事業
- ◎学校問題サポートチーム運営事業
- など 5事業

戦略プロジェクト③: 住みよいまちへの心の醸成

【ふるさと草津の心の醸成】
＜戦略アクション＞ 94百万円(再掲除く)

- ◎草津川跡地整備事業(再掲)
- 中心市街地活性化推進事業(再掲)
- ◎くさつ女性活躍応援事業
- シティセールス推進事業
- ◎ふるさと寄附運営事業
- など 6事業

戦略目標 2

力強い経済活動や多様な主体の
連携が交流と活気を生み、
まちが躍動する [6.9億円]

戦略プロジェクト④: 活気を生む産業の振興と雇用の創出

【産業の振興と雇用の創出】
＜戦略アクション＞ 126百万円

- ◎工業振興事業
 - ・創業コーディネータ派遣事業
 - ・草津イノベーションコーディネータ配置事業
 - ・市内企業情報データベース「あうんです!」運営事業
- ・セールスプロモーション支援事業
- ・公的インキュベーション施設退去企業立地促進助成事業
- ・企業立地促進事業(工場等設置助成)
- ◎起業家育成施設入居企業賃料軽減補助事業
 - ・立命館大学BKCインキュベータ賃料補助事業
- ◎産業支援コーディネータ(立命館大学)配置事業
- 大津・草津地域産業活性化協議会事業
- 4事業

【物産振興と特産品創出の支援】
＜戦略アクション＞ 6百万円

- 草津ブランド力強化事業
 - ・草津ブランド推進協議会補助事業
 - ・あおばな啓発事業
 - ・草津ホンモノブランド化戦略補助事業
 - ・6次産業化補助事業
- たんぼのこ体験事業
- 2事業

戦略プロジェクト⑤: 多様な交流の促進

【観光振興による活性化の促進】
＜戦略アクション＞ 51百万円

- ◎会場まつり開催費補助事業
- ◎観光物産協会観光振興活動費補助事業
 - ・草津版ヘルスツーリズム構築検討業務
- 観光宣伝事業
- ◎ピワイチ観光推進事業
- 5事業

【まちなかの交流による活性化の促進】
＜戦略アクション＞ 504百万円

- ◎草津川跡地整備事業
- 中心市街地活性化推進事業
- 商店街活性化推進事業
- アーバンデザインセンター運営事業
- ◎大江霊仙寺線(南笠工区)整備事業
- など 6事業

戦略目標 3

地域課題の解決が図られ、
健康で安心して未永く暮らせる
[61.3億円]

戦略プロジェクト⑥: 地域の現状・特性に応じた課題解決

【協働のまちづくりと防犯・防災体制のきめ細かな対応】
＜戦略アクション＞ 212百万円

- まちづくり協議会推進事業
- ◎自主防災組織育成事業
- 防犯対策事業
- など 4事業

【都市機能充実のためのきめ細かな対応】
＜戦略アクション＞ 5,589百万円

- ◎南草津ブリムタウン土地区画整理事業
- ◎北中西・栄町地区市街地再開発事業
- 公共交通対策事業
- ◎野村公園整備事業
- 野路公園整備事業
- 児童公園再整備事業・公園長寿命化対策事業
- ◎歩行空間バリアフリー化事業
- ◎地域まちづくりセンター整備事業
- など 10事業

戦略プロジェクト⑦: 健やかに暮らせるまちづくり

【健康寿命延伸といきがいのある暮らしづくり】
＜戦略アクション＞ 53百万円

- 市民の健康づくり推進事務
- 健康啓発推進事業
 - ・くさつヘルスアッププロジェクト
- 草津川跡地公園健康イベント開催事業
- シルバー人材センター運営・活動事業
- ウォーキング大会開催補助事業
- など 14事業

【暮らしの安心サポート体制の充実】
＜戦略アクション＞ 277百万円

- 認知症総合支援事業
- 高齢者総合相談・支援事業
- 障害者福祉センター管理運営事業(相談支援等)
- 3事業

PDCAサイクルについて

●総合戦略の取組を推進するため、以下のPDCAサイクルに基づき改善を加えつつ、事業を推進します。

P l a n

数値目標・客観的な指標を設定した総合戦略を策定すること

D o

総合戦略に基づく事業を実施すること

C h e c k

数値目標・客観的な指標の達成度を通じて、総合戦略の成果を客観的に検証すること

A c t i o n

検証結果を踏まえて取組を見直すとともに、必要に応じて総合戦略の改訂を行うこと

草津市まち・ひと・しごと
創生推進懇話会

公募市民や学識経験者、関係団体等の委員で構成

草津市の主な取組と今後の予定について

平成28年3月

- 「草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定

平成28年10月7日

- 第1回草津市まち・ひと・しごと創生推進懇話会を開催
 - ・平成27年度実績報告
 - ・地方創生関連交付金事業に関する評価・意見交換を実施

平成29年8月2日

- 第2回草津市まち・ひと・しごと創生推進懇話会を開催
 - ・平成28年度実績報告
 - ・地方創生関連交付金事業に関する評価・意見交換を実施

平成30年6月28日

- 第3回草津市まち・ひと・しごと創生推進懇話会を開催
 - ・平成29年度実績報告
 - ・地方創生関連交付金事業に関する評価・意見交換を実施

平成31年6月下旬（予定）

- 第4回草津市まち・ひと・しごと創生推進懇話会を開催
 - ・平成30年度実績報告
 - ・地方創生関連交付金事業に関する評価・意見交換を実施